

## 第 50 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会①】

日時：2024 年 11 月 6 日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③ 10:00～12:00(予定)

場所：JR 東日本現地会議室

### 次 第

#### 【部会①】

(1)開会

(2)TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）の確認調査報告 【資料1】

(3)その他

(4)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

# 検出された遺構

調査対象エリアで、築堤開業期海側石垣の検出が予想される位置を中心に、トレンチを設定して調査を実施しました(トレンチ8・9は石垣が検出されない位置です)。調査の結果、全9箇所のトレンチにおいて、現地表面下約80cmのところで、高輪築堤跡が残存していることを確認しました。石垣の痕跡が確認された位置を **—** で示しています。  
※各トレンチごとに掘削深度が異なります。

## 資料1-1

築堤盛土の一部を掘削した結果、西側に傾斜する堆積状態を確認しました。その傾斜を境にして、東側が開業期(明治5年)の築堤盛土、西側は複線化期(明治9年)の盛土と考えられます。



※調査成果は2024年12月1時点ののものであり、今後変更が生じる可能性があります。



## ←開業期海側石垣と張り出し遺構検出状況（南東から撮影）

石垣と接続し、海側に張り出すように造られた石積みの遺構が確認されました。張り出し遺構は、4街区で発見された信号機跡と考えられる張り出し遺構とよく似ています。

※4街区の張り出し遺構については、下の【参考】をご覧ください。



←張り出し遺構の内部構造を調査した結果、木材の一部が確認されました。これは、4街区の信号機土台部で確認されている木材を十字に組んだ基礎構造と似ています。（東から撮影）



張り出し遺構の石積みは石の高さを揃えて積んでいく「布積み」で造られています。（南から撮影）

## 【参考】4街区で発見された張り出し遺構

トレンチ 7 の張り出し遺構で検出された木材は十字基礎の南北方向の木材と推定しています。



海側の石垣から張り出して造られています。



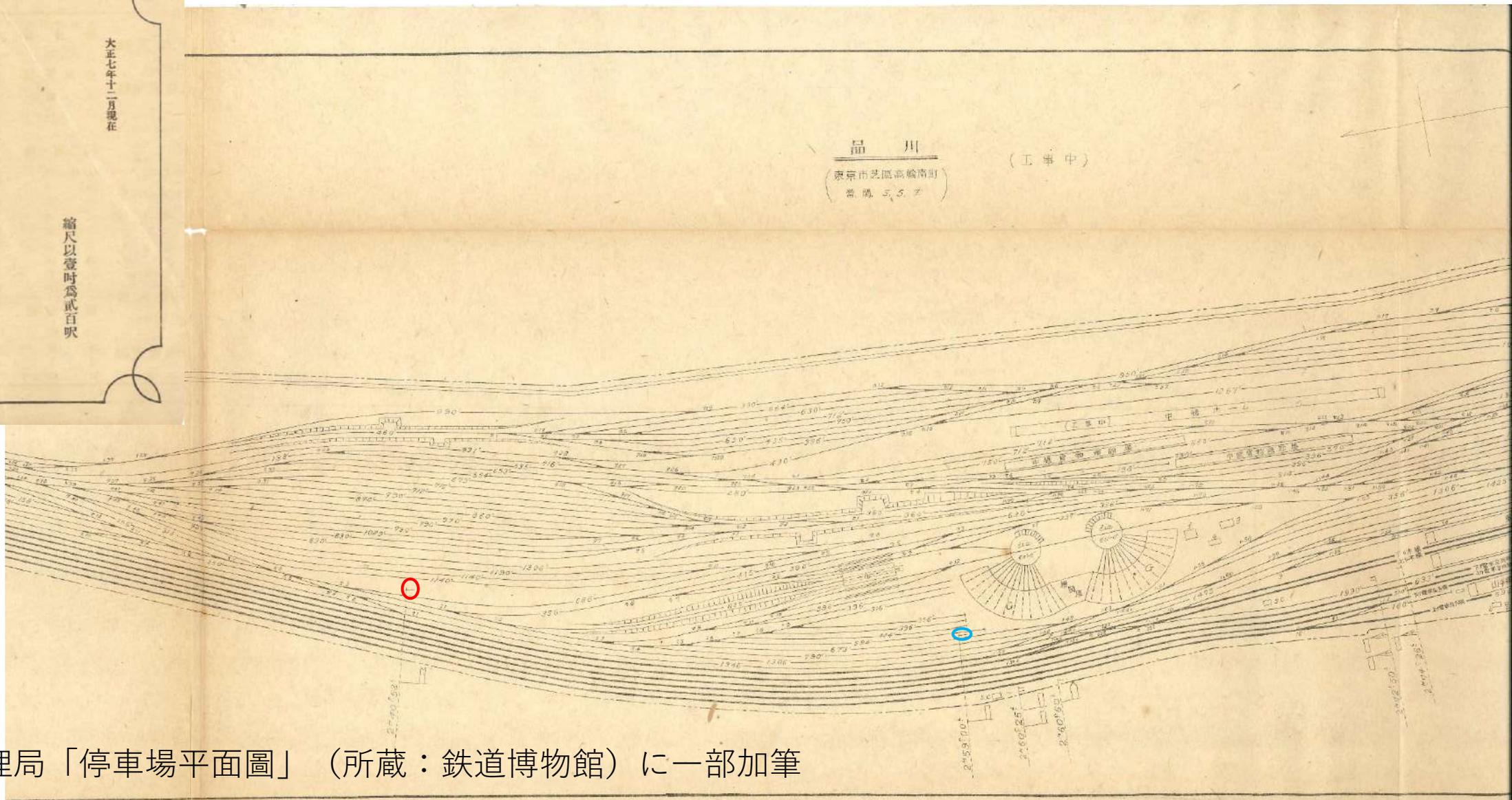
張り出し遺構の中から、新旧2つの時期の十字基礎が確認されました。

凡 例

A	停車場本屋
B	貨物上家
D	客車庫
G	機關車庫
S	信號所
T	給水器
W	貯水器
I	本線
	側線
	會社線
	場內信號機
	通過信號機
	遠方信號機
	出發信號機
	側線出發信號機
	自動場內信號機
	自動遠方信號機
	郵便受授機
L	インターロッキングポイント

大正七年十二月現在

縮尺以壹吋爲貳百呎



中部鐵道管理局「停車場平面圖」(所藏：鐵道博物館)に一部加筆